

三心を磨く

学校だより NO. 36

平成30年 1月19日(金) 発行

須坂市立東中学校

文責：金井 勝久 (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

平成29年度 県教委P・C調査の結果をお知らせします！
2年生の「英語」・「国語」の数値が改善されてきました！！

～家庭学習や自主学習、補習問題への取り組みの成果が出始めています～

本校では、長野県教育委員会の「P・C調査」と「全国学力・学習状況調査」とを関連づけることにより、中学校2年から中学校3年へと継続した指導を、より強く意識した学力向上のための「PDCAサイクル」を構築しています。

P調査とは、4月に行った調査であり、「10～12」の問題を、30分間で取り組み、職員は生徒の学力の実態を正確に把握し、前年度までの学習内容の定着状況を判断します。そして各種復習問題に取り組んだり、クリア・チャレンジ問題、レビュー問題などを宿題や授業・補習の中で扱い復習したり、職員が授業改善を進め授業を展開したりしています。中学校1年生は「数学」の1科目、中学校2年は「国語」「数学」「英語」の3科目を行います。

C調査とは、11月に行った調査であり、「10～12」の問題を、30分間で取り組みます。そして当該学年の学習内容の定着を見ます。中学校1年生は「数学」の1科目、中学校2年は「国語」「数学」「英語」の3科目を行います。これにより、本校の課題をはっきりとさせ、改善にむけてのアプローチを行います。

1学年 「数学」の結果より

P調査の結果 (4月)		C調査の結果 (11月)	
知識に関する問題	活用に関する問題	知識に関する問題	活用に関する問題
本校と県との比較	本校と県との比較	本校と県との比較	本校と県との比較
+1.9	+0.1	-1.0	-5.0

2学年 「国語」の結果より

P調査の結果 (4月)		C調査の結果 (11月)	
知識に関する問題	活用に関する問題	知識に関する問題	活用に関する問題
本校と県との比較	本校と県との比較	本校と県との比較	本校と県との比較
-4.5	+1.9	±0.0	+12.2

2 学年 「数学」の結果より

P調査の結果（4月）		C調査の結果（11月）	
知識に関する問題	活用に関する問題	知識に関する問題	活用に関する問題
本校と県との比較	本校と県との比較	本校と県との比較	本校と県との比較
+1.3	-9.1	-2.9	-12.1

2 学年 「英語」の結果より

P調査の結果（4月）		C調査の結果（11月）	
知識に関する問題	活用に関する問題	知識に関する問題	活用に関する問題
本校と県との比較	本校と県との比較	本校と県との比較	本校と県との比較
-3.5	-18.5	+3.1	-0.5

○1年生の数学から見てきたことは、「問題の読み取りができていない」（何を問われているのか、どのように答えたらよいのか）ということでした。最もできなかった問題が、以下のものです。

5mの重さがaグラムの針金があります。この針金の1mあたりの重さは何グラムですか？
aを用いた式で表しなさい。

答えは $\frac{1}{5}a$ なのですが、「5a」と答えた生徒が多く、この問題だけで「-17.1」ポイントとなっています。割合の問題ですが、定着が甘いことが明らかであり、補充していきます。

※提出物やプリントの添削を通して見えてきたこととして、1年生には「家庭学習・自主学習の不足」が感じられます。まだまだ力が出し切れていません。プラスαの学習を求めています。

○2年生については、1・2学期における学習の成果が少しずつ見え始めてきました。

- ・「国語」ですが、P調査で「-4.5」ポイントであった知識に関する問題が、C調査では「県平均」と重なり「±0.0」となりました。そしてP調査「+1.9」ポイントであった活用に関する問題は、C調査では「+12.2」ポイントとなり、県平均を大きく上回りました。
- ・「英語」においては、P調査において「-3.5」ポイントであった知識に関する問題が、C調査では県平均を「+3.1」ポイントと上回り、P調査で「-18.5」ポイントだった活用に関する問題はC調査「+18ポイント」も伸び、県平均にあと「-0.5」ポイントまで改善されました。
- ・「数学」については、C調査において、知識に関する問題では「-2.9」ポイント、活用に関する問題では「-12.1」と数値が下がっています。

※2学期末の各種アンケートによると、2年生は昨年度に比べ、家庭学習や自主学習などへの取り組みの高まりがあります。また、斜面ノートの中身が充実し、提出プリントの提出率も上がってきています。このような生徒一人ひとりの取組のよさと、職員の授業改善の成果が形になってきました。この流れを大切に、学習習慣の確立とさらなる授業改善を進めてまいります。

特に数学については、月2回、金曜日の「補習」の時間を設定し、少人数学習を行います。